

2017年1月10日

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン・アセットマネジメント

宇佐美 博高から皆様へのメッセージ

2017年も革新は続く～自らが道を切り拓く企業に注目を～

2016年の日本株式市場を振り返ると、英国の国民投票におけるEU（欧州連合）離脱選択や米国の大統領選挙など、前年に引き続き海外情勢の影響を受けて大きく変動した一年となりました。足元の日本経済については、12月20日の日銀金融政策決定会合を受けた景況判断でも示されたように、消費が底堅く推移していることに加え、生産や輸出にも持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調を続けています。最近の企業経営者との個別直接面談でも、足元の業績は堅調に推移しており、今後の成長戦略について、自信を深めている経営者が多くみられました。特に、当ファンドの主な投資対象である新興成長企業には、大企業と比べて世界の景気動向や為替動向の影響を受けにくい企業が多いこともあり、外部要因に一喜一憂している経営者は少ないという印象を持っています。

さらに、景気動向に関わらず、今は様々な点で生活や経済が大きく変革する時期に差し掛かってきています。IoT（モノのインターネット化）やAI（人工知能）、ロボットなど、これまで夢と考えられていた技術の実用化が様々な産業でみられています。例えば、自動車業界では自動運転など、安全性を高める取組みが急ピッチで進んでいたり、建設業界では官民共同でこうした技術を積極的に取り入れることによって生産性を高める“i-Construction”（アイ・コンストラクション）の取組みが始まっています。また、金融業界においても“フィンテック”（IT技術を駆使した新しい金融サービス）の開発が進んでいます。そのほかの製造業や運輸・物流など幅広い業界でも既存の産業構造を覆すような技術革新が起きており、こうした動きが新たなビジネスチャンスを生み出しています。

こうした動きは、とりわけ既成概念にとらわれずに斬新な発想で事業展開する新興成長企業にとっては、大きな追い風となることが期待されます。実際、東洋経済新報社の集計予想によると、東証一部上場企業の2016年度当期純利益は前年度比+8.5%、2017年度は+8.6%の増益が見込まれている一方、JASDAQ上場企業では2016年度が+40.2%、2017年度は+17.8%と相対的に

※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

1/4

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

大幅な増益が予想されています。また、JASDAQを除く新興市場の上場企業も同様に、一部上場企業を大きく上回る増益が予想されています。

また、株式市場活性化の重要な源の一つとなる IPO（株式の新規公開）も、活況が続いています。2016年の IPO 企業数は 83 社と、6年連続の増加となった 2015年（92社）には及ばなかったものの、引き続き高水準となっており、この傾向は 2017年も続くことが想定されます。弊社では、IPO 前のロードショー（株式の発行条件に対する意見聴取の目的で、企業幹部が機関投資家を訪問して行なう事業内容等の説明会）での面談を丹念に行ない、各社の事業や技術の革新性、成長性について吟味しています。2016年も、将来の私たちの生活やビジネス環境を変える可能性を秘めた企業をしっかりと確認することができました。

こうした点を踏まえると、2017年も、個別企業の成長性に着目した徹底的な個別直接面談調査が活かされる環境が続くと考えています。これからも、受益者の皆様に代わって、積極的な調査活動を行なってまいります。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント
宇佐美 博高

※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

2/4

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

<リスク情報>

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

<その他の留意事項>

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類 : 追加型投信／国内／株式
ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額 : 購入申込受付日の基準価額
信託期間 : 2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日 : 毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。
 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、
 購入時手数料はかかりません。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 : 純資産総額に対して年率2.052%(税抜1.9%)を乗じて得た額

その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示す
 ことができません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なります
 ので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

投資顧問会社 : エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社

受託会社 : 野村信託銀行株式会社

販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。